

《セッション構成案》

■内科・外科シンポジウム 2 (90分)

冠動脈疾患診療における働き方改革

論点：効率化、教育の観点から集約化が求められ、働き方改革はこれを促進させるものと考えられる。一方、緊急疾患が多い循環器は、早期に診療治療ができる体制が必要であり、むしろ分散が必要である。そこで、今後の循環器医療の在り方について内科、外科の立場から、また地域医療の見地からの見解を述べていただく。

座長：内科 大阪医療センター上田恭敬 先生 外科 獨協医大 福田宏嗣 先生

1. 内科全体の意見：済熊流循環器内科医のための働き方改革
済生会熊本病院 坂本知浩 先生 (発表 15分+質疑 3分)
2. 地方の内科の意見：
岩手医大 伊藤智範 先生 (発表 15分+質疑 3分)
3. 外科全体の意見：心臓血管外科領域における働き方改革の鍵ーリスク評価から考える
東邦大学 齋藤 綾 先生 (発表 15分+質疑 3分)
4. 地方の外科の意見：冠疾患資料における地方の心臓血管外科の状況について
金沢医大 高野 環 先生 (発表 15分+質疑 3分)

総合討論 (15分)